昭和44年９月22日　第３種郵便物認可　　平成25年２月10日発行　第545号



発行所 〒730－0012
広島市中区上八丁堀８番10号
建設業労働災害防止協会広島県支部
発行人　伏見暁
TEL（082）228－8250
印刷所 広島市西区東観音町３番８号
中外印刷株式会社
TEL（082）291－4646

定価　40円　送料　60円　毎月１回　10日発行　　会員の方は会費に「建災防広島」の購読料が含まれています。　２月号

平成24年度

建設業年度末労働災害防止強調月間

期間／平成２５年３月１日～３月３１日

「労働災害のより一層の減少を図るために　リスクアセスメントの確実な実施とコスモスの導入・実施を」

平成24年の、全国の建設業の労働災害は、死傷者数は15,930人（速報値H24.11末日現在、震災を除く。）で23年同期と比較し921人増加し、労働災害による死亡者数も329人（速報値H24.12.7現在、震災を除く。）23年同期に比べ44人の増加と憂慮すべき状況になっております。

一方広島県内の建設業における労働災害発生状況は、関係者のご尽力により、死傷者数328人（H24.12末累計）と23年（確定）に比べ23人の減少、死亡者数も７人(H25.1.18現在)と1人の減少となっております。



しかし、全産業で見ますと増加となっており、平成23年10月には、厚生労働省、広島労働局より「労働災害減少に向けた緊急要請」がありました。

念願の死亡災害ゼロをめざし、もう一度原点に立ち返り、一層の努力をすることが必要です。

年度末は、公共工事等の多くが完工時期を迎えることから、厳しい工程による工事の輻輳化等で、労働災害の多発が懸念されます。

これらに対処するため、建設業労働災害防止協会の主唱、厚生労働省・国土交通省の後援により、「建設業年度末労働災害防止強調月間」を定め、労働災害防止の徹底を図るための運動を展開いたします。

会員に於かれましては、本期間中、「作業間の連絡調整及び作業指示の徹底」、「無理な作業の排除」に努め、店社と作業所が一体となり、「リスクアセスメントの確実な実施」等、効果的な安全活動の推進に努めていただきますようお願いいたします。

なお、具体的には、「平成24年度建設業年度末労働災害防止強調月間実施要領」をご参照いただき、「建設業労働災害防止規程」及び「平成24年度建設業労働災害防止対策実施事項」に定める「建設現場における主要災害防止の具体的対策（P22～50)」等をご活用ください。

目　次

全国で建設業の労働災害が増加しています

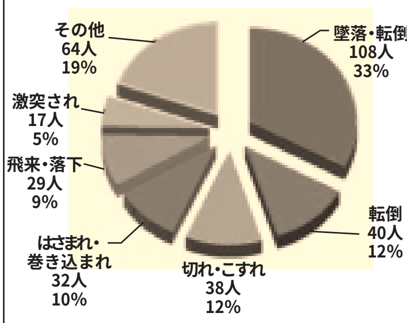
建設現場での労働災害 特に（墜落・転落、転倒、飛来・落下、はさまれ・巻き込まれ、切れ・こすれ）災害を防止しよう！

全国の建設業における労働災害発生状況（速報値）　【厚生労働省】

○　死亡者数　　354人、対前年同期比32人（9.9％）の増加　【平成25年１月７日現在】
○　死傷者数（休業４日以上の死傷者数）
　　18,062人、対前年同期比513人（2.9％）の増加　【平成24年12月末現在】
○　重大災害　　94件、対前年同期比20件（27.0％）の増加　【平成25年１月７日現在】
※「重大災害」：一時に３人以上が死傷する災害

広島労働局管内の労働災害発生状況（建設業）

現在、死亡者数は昨年同数、死傷者数は減少で推移しています。
○　死亡者数　　7人、昨年同期８人【平成24年12月31日現在】
○　死傷者数　　328人、対前年同期比11人（3.2％）の減少　【平成24年12月末現在】



☞平成24年に、広島労働局管内の建設業で発生した休業４日以上の死傷災害328件を事故の型別で見ますと、墜落・転落（33％）、転倒（12％）、切れ・こすれ（12％）、はさまれ・巻き込まれ（10％）、飛来・落下（９％）となっています。

この５つの型別の災害で、全労働災害の76％を占めています。

これから年度末に向けて、何かとあわただしい時期を迎えます。建設現場では工事の追い込み等による作業の輻輳から、労働災害が起きやすい状況が生まれます。

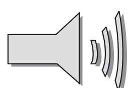
建設現場での労働災害を減少させるためには、特に「墜落・転落・転倒、切れ・こすれ、はさまれ・巻き込まれ、飛来・落下」災害を防止する対策が重要です。

広島労働局・各労働基準監督署

署　別　災　害　発　生　状　況（死傷病報告による）

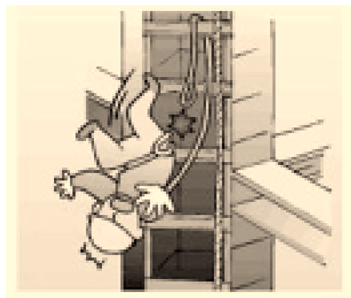
広島労働局（平成24年12月末日現在）

監督署別	全産業							建設業							平成24年 建設業/全産業（%）
	平成23年			平成24年			増減数	平成23年			平成24年			増減数	
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		
広島	7	883	890	7	781	788	−102	2	80	82	3	73	76	−6	9.6
呉	3	281	284	5	236	241	−43	2	36	38	1	40	41	3	17.0
福山	5	589	594	8	580	588	−6	0	66	66	1	69	70	4	11.9
三原	5	190	195	2	182	184	−11	1	26	27	1	27	28	1	15.2
尾道	4	213	217	1	178	179	−38	1	23	24	0	25	25	1	14.0
三次	2	219	221	1	201	202	−19	2	40	42	0	35	35	−7	17.3
広島北	1	366	367	3	292	295	−72	0	51	51	0	26	26	−25	8.8
廿日市	3	255	258	1	256	257	−1	0	33	33	1	26	27	−6	10.5
合計	30	2,996	3,026	28	2,706	2,734	−292	8	355	363	7	321	328	−35	12.0



その作業、安全対策は十分ですか？

墜落・転落災害の防止

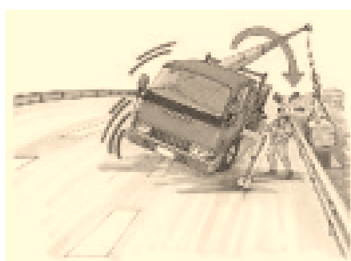


- 墜落の危険がある高所作業では、足場、作業床を設置し、手すり等の墜落防止措置を講じましょう。
- これが困難な場合、安全ネットの設置、安全帯の使用を徹底しましょう。



- 踏抜きの危険がある時は、歩み板の設置、防網を張る等の踏抜き防止措置を講じましょう。
- 移動はしごは、建物に固定する等転移防止措置を講じましょう。

転倒災害の防止



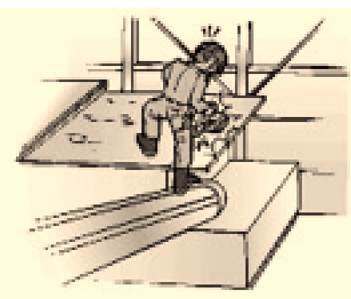
- 積載型トラッククレーンは、旋回方向により車両の安定が変わります。
- アウトリガの張出幅によっても定格総荷重が変わります。
- 取扱説明書で確認しましょう。

はさまれ・巻き込まれ災害の防止



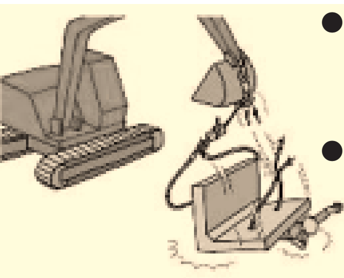
- 車両の走行範囲への立入禁止措置を講じるか、誘導員を配置しましょう。
- 特に後進時の安全確認を徹底しましょう。

切れ・こすれ災害の防止



- 作業開始前に、携帯用丸のこ盤の歯の接触予防装置の機能を確保しましょう。
- 携帯用丸のこ盤を回転させたまま、あるいはスイッチに指をかけて持ち運ばないようにしましょう。

飛来・落下災害の防止



- 車両系建設機械の用途外使用は原則として行わないようにしましょう。
- 荷の吊り上げ作業では、吊り荷の下に人を立ち入らせないようにしましょう。

★交通労働災害死亡者が増えています!



- 交通ルールの遵守、過積載の防止により安全運行に努めましょう。
- 荷の積み卸し作業で荷台からの墜落災害も多発しています。保護帽を着用しましょう。

図の出典：厚生労働省
職場のあんぜんサイト

　厚生労働省では、「あんぜんプロジェクト」ホームページを開設しています。
　労働災害発生状況や、プロジェクトに参加する企業（プロジェクトメンバー）を公表するとともに、プロジェクトメンバーの安全衛生活動の取組みの紹介など、職場の労働災害防止対策に役立つ各種情報を公表しています。
　皆さん、ご活用ください。

(http://anzeninfo. mhlw. qo. ip/anzenproiect)